

研究テーマ：子育て支援のネットワークづくり

研究代表者（職氏名）：引野里絵（助手）

所属：保健福祉学部作業療法学科

共同研究者（職氏名）：林優子（教授）、土田玲子（教授）、西上忠臣（助手）、伊藤信寿（助手）、西田征治（講師）、西村いづみ（助手）

研究目的

子育てに関する悩みや不安、相談ごとに関して適切に支援できるよう、地域、行政、大学が連携し、三原市における子育て支援のネットワークをつくること

平成18年度の目標

三原市における『子育て』に関する情報をまとめ、子育て中の保護者の方が、効率的に情報収集できるようにする

『みはら子育て応援ネット』の作成

研究経過

- * 三原市の各課で行っている『子育て』に関する情報を収集する
- * 各課の情報をまとめて、ライフステージに沿って情報提供できるようにまとめる

研究背景














近年の少子化、核家族化により、健全な育児、子育てを行うための支援の必要性が高まってきている。現状では、子育てに関する適切な情報を収集することが難しい。また、地域で子育てをするために有効な情報も得にくい傾向にあり、子育てに不安を感じている養育者も多いと考えられる。

また、過去に行われた、子育てに関するアンケート調査には、保護者が手軽に正確な情報を得たいという要望が多かった、という報告がある。

- 従って、現代機器の一つであるインターネットを利用して、知りたい情報を容易に得る事ができるようにすることで、子育て支援の一旦が担えるのではないかと考えた。

大学職員の果たした役割

- ① 情報提供の方法（ライフステージに沿って）の提案
- ② 行政用語を分かりやすく説明するための助言
- ③ インパクトがあり、内容をイメージしやすい小見出しの考案
- ④ 子育て中の家族に必要な情報の収集と提案

-  妊娠おめでとう！
-  お母さんも働きたい
-  こんにちは！赤ちゃん
-  母子家庭等の生活を支えます
-  3歳になるまで
-  一人で悩まないで
-  幼稚園・保育所に入る
-  障がいのある子を支えます
-  小学生になったら
-  虐待？子育て無関心？
-  中学生になったら
-  急病になったら
-  あそ viba まな viba

今後の課題

- * 子育て相談に関する FAQ または Q&A の作成・考案
- * 子育て中の保護者はパソコンを介して情報提供する時間がない⇒携帯サイトの作成

* 「みはら子育て応援ネット」の有効性の検討

* 中学校卒業～成人期における支援や社会参加に関する情報収集と提供、制度等の構築